

山形県空手道連盟役員 各位
山形県空手道連盟加盟団体会員 各位

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

早いもので2月の本連盟総会から2カ月以上が経過致しました。大変遅くなりましたが、会長就任のご挨拶につきましては、県空連の新しいホームページの完成に合わせて掲載させて頂きますので宜しくお願い致します。

さて、現在も新型コロナ感染者が多数出ており、すでに第4波が到来しているとの報道もあります。山形県も過去に30人を超える感染者が連日出て、山形県、山形市、寒河江市（後に解除）に独自の緊急事態宣言（4月25日まで延長）が発せられております。

また変異株については、従来のE484Kの他に山形県では4月18日に感染力が強いとされるN501Yの感染者が確認され、47都道府県全域に発生してしまいました。

このことから山形県としては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されている地域、人口に占める感染者数が多い地域との往来自粛の要請がありました。

一方、これに対応してワクチン接種が計画されておりますが、当初予定よりも大幅に遅れてしまうことが予想されます。またワクチンと言えばインフルエンザですが、例年1000万人が感染しているのが、昨シーズンの20～21年は1.4万人と激減しているようです。

これは、新型コロナ感染防止のためのマスク着用、手洗い、うがい、消毒などが、インフルエンザ流行の防止に役立ったとの見方もあります。

これらの状況下において、私たちの活動は大きく制限され、新しい生活様式で生活をしなければなりません。県空連総会でもお話し申し上げたように、私達は「空手道界から感染者を出さない」という強い意志の下、各市町村・スポーツ保健課・全空連等からのガイドラインを確認して大会や行事を計画しなければなりません。また、一人一人の会員が今行うべきものは、「大会や諸行事を見据えながら技術と力を蓄える時期であり耐える時期」であると思います。会員の皆様方には、新型コロナの感染を十分注意しながら日常の稽古に励んで頂きたいと思います。

私達は、このような状態が一日も早く収束し、元の明るい生活ができるように願うものがあります。皆様各位のご健勝とご活躍をお祈り致します。

敬具

令和3年4月20日

山形県空手道連盟会長 工藤 清